

定期作況報告

(平成25年10月20日現在)
上川農業試験場天北支場

I 気象概況

9月下旬から10月中旬までの気象は以下のように推移した。

9月下旬：平均最高気温が18.9℃(対平年比+0.5℃)と平年よりやや高く、平均最低気温は9.4℃(+0.2℃)と平年並であったため、平均気温は14.0℃(+0.3℃)と平年並であった。

降水量は23.5mm(84%)、日照時間は51.1時間(89%)といずれも平年並であった。畑地温は13.2℃(-0.8℃)と平年よりやや低かった。

10月上旬：平均最高気温は19.5℃(+2.8℃)、平均最低温度は9.5℃(+1.9℃)といずれも平年より高かったため、平均気温は14.7℃(+2.1℃)と平年より高かった。降水量は10.0mm(30%)と平年より少なかった。日照時間は66.2時間(139%)と平年より長かった。畑地温は13.1℃(+0.4℃)と平年並だった。

10月中旬：平均最低気温が13.4℃(-1.1℃)と平年より低かったが、平均最低気温が5.2℃(-0.4℃)と平年並であったため、平均気温は9.5℃(±0.0℃)と平年並であった。降水量は33.5mm(134%)と平年よりやや多く、日照時間は33.7時間(75%)と平年より短かった。畑地温は9.8℃(-1.5℃)と平年より低かった。

以上、この期間を要約すると、平均気温の3旬の平均は12.3℃(+0.3℃)、日照時間の3旬合計は151.0時間(100%)といずれも平年並で、降水量の3旬の合計は67.0mm(78%)と平年よりやや少なかった。畑地温は11.6℃(-1.1℃)と平年よりやや低かった。

4月からの主気象要素の積算値は、平均気温、日照時間、畑地温は平年並に推移している。一方降水量は平年よりやや少なく推移している。

a. 気象表

項目	9月下旬			10月上旬			10月中旬			3旬平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温 (℃)	14.0	13.7	0.3	14.7	12.6	2.1	9.5	9.5	0.0	12.3	12.0	0.3
平均最高気温 (℃)	18.9	18.4	0.5	19.5	16.7	2.8	13.4	14.5	△ 1.1	16.7	16.6	0.1
平均最低気温 (℃)	9.4	9.2	0.2	9.5	7.6	1.9	5.2	5.6	△ 0.4	7.8	7.5	0.3
降水量 (mm)	23.5	28.1	△ 4.6	10.0	32.8	△ 22.8	33.5	25.0	8.5	67.0	85.9	△ 18.9
降水日数 (日)	4	5	△ 1	4	4	0	7	6	1	15	15	0
日照時間 (hrs)	51.1	58.4	△ 7.3	66.2	47.7	18.5	33.7	44.7	△ 11.0	151.0	150.8	0.2
平均畑地温 (10cm,℃)	13.2	14.0	△ 0.8	13.1	12.7	0.4	9.8	11.3	△ 1.5	11.6	12.7	△ 1.1
最多風向	E			WSW			NE					
平均風速 (m/s)	2.5			3.1			2.9					

注1) 平均畑地温は上川農試天北支場のデータ、その他の観測値は浜頓別アメダスのデータ。

2) 平年値は前10か年の平均より上川農試天北支場作成。

3) 降水量、降水日数、日照時間の3旬平均欄は3旬の合計値。

4) △印は対平年値比減を示す。

b. 主気象要素積算値 (4月21日～10月20日)

	平均気温 (℃)	降水量 (mm)	日照時間 (hrs)	畑地温 (℃)
本年	2,672	408	858	2,373
平年	2,575	549	900	2,359
比較	97	△ 141	△ 42	15

Ⅱ 作 況

1. 採草型 チモシー（3番草）

作況：良

事由：収穫期の草丈は5cm高く、乾物収量は平年比143%と多収であった。前番草刈取後の再生が良好であり、その後の気象条件にも特に問題がなかったことから、良好な生育を維持したものと見られる。

以上より、目下の作況は良である。

越冬前(10月20日)の草丈は平年より3cm低かった。

調査項目：

収穫期（月・日）			収穫期の草丈（cm）			10月20日の草丈（cm）		
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
10. 9	10.10	△ 1	52	47	5	11	14	△ 3

生草収量（kg/10a）			乾物率（%）			乾物収量（kg/10a）			
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年比
908	799	109	25.4	20.8	4.6	231	161	70	143 %

注）平年値は前7か年のうち、平成20年（最豊年）及び平成22年（最凶年）を除いた5か年平均値。

2. 放牧型 ペレニアルライグラス（6番草）

作況：やや不良

事由：草丈は平年より5cm低かった。乾物収量は前番草同様、平年比88%とやや少なく、夏季の高温干ばつ状態による生育の抑制からの回復傾向が認められない。

以上より、目下の作況はやや不良である。

調査項目：

草 丈（cm）		
本年	平年	比較
26	31	△ 5

生草収量（kg/10a）			乾物率（%）			乾物収量（kg/10a）			
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年比
429	563	△ 134	20.7	18.0	2.7	89	101	△ 12	88 %

注）平年値は前7か年のうち、平成18年（最豊年）及び平成22年（最凶年）を除いた5か年平均値。